

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	児童館運営事業(地域交流・子育て支援・人材育成)				事業コード	430205		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち			政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり		
	施策名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成				施策コード	322	
事業担当	所属	15010000 福祉保健部 子ども政策室			所属長	村上 五十鈴		
会計情報	款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	03 児童福祉施設費		
計画期間	開始年度	平成14年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		
根拠法令等	R4現在の状況							継続中
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
関連事業	児童館管理経費事業、児童館改修事業							

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	地域交流・子育て支援・人材育成を目的とした各種事業を通じて、子ども同士、子どもと地域住民等との交流を深め、地域のつながりを強化する。子どもが安心して居る居場所を確保し、子どもと保護者に寄り添う子育て支援を行う。人権学習等を通じて差別を許さない人材を育成する。						
対象者	市内の乳幼児から中学生まで		対象者数	10,011	単位あたりコスト	6.6	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()						
委託先・実施主体等	京都ユニオン(株)、(特非)劇団 風の子 関西						
事業概要 (箇条書き)	地域交流・子育て支援・人材育成を目的とした各種事業(児童館まつり・文化祭・やんちゃフェスタ等)を実施。						
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				
	報償費、旅費	445	講師謝礼、研修旅費				
	需用費、役務費	624	消耗品費、燃料費、手数料				
	委託料	117	運転代行業務委託				
	使用料及び賃借料	35	自動車借上料、施設使用料・入館料等				
	負担金補助及び交付金	127	母親クラブ運営補助金				

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	4,747	4,669	4,687	4,825				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	4,747	4,669	4,687	4,825					
予算財源内訳	① 一般財源	3,073	2,995	3,013	3,191				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	1,581	1,581	1,581	1,541				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	93	93	93	93				
決算情報	① 流充用額	△ 998	△ 2,415						
	② 配当予算	3,749	2,254						
	③ 執行額	1,679	1,348						
	④ 執行率	44.8%	59.8%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	4.20 / 20.00	3.84 / 13.80	3.84 / 13.80	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	83,600	65,220	65,220	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	85,279	66,568	65,220	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域交流活性化支援事業(児童館)	種類	民生費府補助金	実績金額	405	決算付属資料	26	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	延べ施設利用者数	人	47043 / 63000	38681 / 63000	31120 / 63000	/ 0	63000
	単位あたりコスト		0.1				
	単位あたりコスト		/	1 /			
							児童館運営事業(地域交流・子育て支援・人材育成)

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流、子育て支援、人材育成を目的とした各種事業を実施。子ども同士、子どもと地域住民等との交流を深め、地域の繋がりを強化するために必要である。 子どもが安心できる居場所を確保し、子どもと保護者に寄り添う子育て支援を行うとともに、人権学習等を通じて差別を許さない人材を育成する。 民間事業者や市民が自ら実施することは現実的には厳しい。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ対策もあり事前申し込みにより各事業を実施しており効率的に実施できた。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 各事業を実施することで、地域の子どもの現状を職員が把握して、利用者の増加に努めるだけでなく、子どもたちの個々の課題に寄り添った対応ができた。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 人権学習などの各実施事業を(人材育成事業)(子育て支援事業)(地域交流事業)の3事業に位置づけ実施した。(定性的評価) 本事業における成果実績の数的設定は困難である。(定性的評価) 少子化の進行と、小中学生の習い事増加など、放課後の過ごし方が変化してきており、利用者数の増加は見込みにくい。学習会などの個別事業を周知しても、事業によっては集まりにくい状況にあり、子どもたちの人材育成の評価を数的設定する事が困難である。特に周辺部の施設は学校統合などの影響もあり、施設利用者数が減少しているため、事業内容や回数の見直し・統合等の検討が必要である。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流事業、子育て交流事業(乳幼児とその保護者対象の各種相談、教室、交流事業)、人材育成事業(研修等)を実施する。 事業内容や回数の見直し、統合等を検討し利用しやすい事業を考える。(学校統廃合などで広範囲となっているので出張児童館などを実施するなど) 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	事業内容や回数の見直し、統合等を検討し利用しやすい事業を考える。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	児童扶養手当事業				事業コード	430313					
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち			政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり					
	施策名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成			施策コード	322					
事業担当	所属	15010000 福祉保健部 子ども政策室			所属長	村上 五十鈴					
会計情報	款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	02 児童措置費	会計	01 一般会計	決算付属資料	130	頁
計画期間	開始年度	昭和36年	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	児童扶養手当法、福知山市児童扶養手当の支給に関する規則										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	福祉医療費(ひとり親)支給事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	ひとり親家庭等の児童の心身が健やかに成長するため、ひとり親家庭の生活の安定と自立を促進する。										
対象者	ひとり親家庭世帯				対象者数	791		単位あたりコスト	386.3		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	○ひとり親家庭等において、児童(年度末18歳到達まで)を養育している人に所得に応じて支給する。(所得制限額あり) 子1人目 月額10,180円～43,160円 子2人目 月額5,100円～10,190円加算 子3人目以降 月額3,060円～6,110円加算										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	需用費	182	消耗品費、電気代、上下水道代								
	役務費	234	郵送料								
	扶助費	301,296	児童扶養手当								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	331,563	329,291	328,037	320,966				
	② 補正予算	7,720	△ 21,060	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	339,283	308,231	328,037	320,966					
予算財源内訳	① 一般財源	214,000	205,659	218,860	214,197				
	② 国支出金	125,283	102,572	109,177	106,769				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	△ 6,519						
	② 配当予算	339,283	301,712						
	③ 執行額	336,927	301,712						
	④ 執行率	99.3%	100.0%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.26 / 1.15	0.13 / 1.13	0.13 / 1.13	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	4,955	3,865	3,865	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	341,882	305,577	3,865	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	児童扶養手当給付費	種類	民生費国庫負担金	実績金額	100,319	決算付属資料	16	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	現況届を提出し、手当を適切に受給した人	人	621 / 0	617 / 0	614 / 0	/ 0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	未提出者への督促	回	3 / 0	3 / 0	3 / 3	/ 0	0
	単位あたりコスト		137521.4	112309.0	100570.7		
	単位あたりコスト		/	3 /	/	/	児童扶養手当事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 児童扶養手当法に基づく事業。 本手当を支給することで、ひとり親世帯の生活の安定と自立を促進することができる。 受給世帯 791世帯 	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 手当の支給にあたっては、毎年、本人及び同居親族の所得を判定し、所得制限額に応じて手当額を決定している。 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭の生活を支え、自立を促進するために有効な事業である。 事業の性質上、成果目標、活動実績が設定しにくい。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 児童扶養手当法に基づき手当を支給した。 児童扶養手当の給付により、ひとり親家庭の生活の安定と自立を促進することができている。 ひとり親世帯であることや受給者及び扶養義務者の収入把握が難しい。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 児童扶養手当法に基づき、適正に事業を実施する。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	国の補助要綱に基づく事業であるため、現行のとおり実施。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	児童公園維持管理事業				事業コード	430323						
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち			政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり						
	施策名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成			施策コード	322						
事業担当	所属	15010000 福祉保健部 子ども政策室			所属長	西村 憲二						
会計情報	款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	03 児童福祉施設費		会計	01 一般会計	決算付属資料	134	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	R4現在の状況			継続中			
根拠法令等	都市計画法、児童福祉法、福知山市開発行為に関する児童公園設置指導要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	子どもたちの成長を育む場の充実に向けて、就学前児童及びその世帯がいつでも安心して遊ぶことのできる環境を維持する。											
対象者	福知山市在住の中学3年生までの児童			対象者数	11,000		単位あたりコスト	0.4				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	(公社)福知山市シルバー人材センター、芦田商事株式会社											
事業概要 (箇条書き)	市内約80箇所の児童遊園の維持管理、及び新たな開発行為により設置される公園に対する設置指導等を行う。 ・用務員(安全点検講習会参加者)による各児童遊園に設置された遊具の日常点検及び専門業者への委託による遊具点検を実施、並びに点検結果に伴い修繕等を実施する。 ・直接管理地における除草作業及び管理する便所の清掃を実施する。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	需用費	874		遊具修繕、電気代								
	役務費	128		ごみ廃棄手数料								
	委託料	1,033		草刈り業務委託、惇明児童公園便所清掃業務委託								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,834		2,043		1,522		2,852				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①~③)	1,834		2,043		1,522		2,852					
予算財源内訳	① 一般財源	1,740		1,944		1,423		2,753				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	94		99		99		99				
決算情報	① 流充用額	0		4								
	② 配当予算	1,834		2,047								
	③ 執行額	1,410		2,035								
	④ 執行率	76.9%		99.4%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.19	/	0.00	0.32	/	0.00	0.00	/	0.00		
	② 概算人件費	1,520		2,560		2,560		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,930		4,595		2,560		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	事故件数	人	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	業務委託(修繕、維持管理)件数	件	5 / 10	7 / 10	5 / 10	10	10
	単位あたりコスト		361.8	201.4	407.0		
	単位あたりコスト			5			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>児童福祉法、福知山市開発行為に関する児童公園設置指導要綱等に基づく、児童遊園施設の設置に関する指導及び安心・安全に子ども達が利用できる場所として、環境整備や遊具の維持修繕を図った。</p>	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 児童遊園の維持管理(草刈や清掃等)については、基本的に地元自治会との委託契約に基づいて、地元管理をお願いしている。 遊具については、安全に安心して使用できるよう、2年に1回、専門業者による一斉点検を実施する他に、日常的に巡回点検を子ども政策室の臨時職員(遊具安全点検講習受講者)により実施し、安全管理に努めている。 	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>安心して利用できる児童遊園を維持するためには、点検業務は欠かすことができない。職員による定期的な日常点検と専門業者による点検を行い、安全な環境を維持している。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>【自己評価】 専門業者による一斉点検や、子ども政策室の臨時職員による日常的な巡回点検を実施することにより、安全管理に努めている。</p> <p>【現状の課題】 遊具等による事故は確認されていないが、経年劣化による遊具修繕の必要性が高い箇所が多い状況である旨、遊具点検業者から報告を受けており、優先順位を見極めた修繕対応等を実施していく必要がある。</p>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 年間で対応できる修繕数には限りがあるため、優先順位をつけて複数年かけて計画的に実施していきたい。 専門業者による遊具点検の結果を、今後の遊具の修繕や撤去の計画を具体的に作成することで、効率的かつ確実な遊具の管理につなげる。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>児童遊具については、野外設置のため遊具の劣化の進行も早いことから、2年に1度は専門業者による遊具点検を実施している。点検結果を受けて、遊具の修繕や撤去等について確実に実施ができるよう計画見直しを現在進めている。次年度以降、優先順位をつけて複数年かけて修繕や撤去等を実施していく。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	母子会・父子会補助事業					事業コード	430325					
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり					
	施策名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成				施策コード	322					
事業担当	所属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上 五十鈴					
会計情報	款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	128	頁
計画期間	開始年度	昭和30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市母子寡婦福祉会・福知山市父子福祉会運営費補助金交付要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山市母子寡婦福祉会及び福知山市父子福祉会の活動を支援し、母子家庭及び父子家庭の福祉の向上と地域全体で子育てを支える機運の醸成を図る。											
対象者	母子寡婦福祉会、父子福祉会会員				対象者数	-		単位あたりコスト				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	-											
事業概要 (箇条書き)	母子寡婦福祉会、父子福祉会が、福祉の向上や交流促進を目的として実施する事業に対し、補助金を交付する。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容							
	負担金補助及び交付金	27			母子寡婦福祉会補助金							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	292	292	263	263	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①～③)	292	292	263	263		
予算財源内訳	① 一般財源	292	292	263	263	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0			
	② 配当予算	292	292			
	③ 執行額	213	27			
	④ 執行率	72.9%	9.2%			
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.04 / 0.00	0.03 / 0.00	0.03 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	344	240	240	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	557	267	240	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	母子会会員数			0 / 0	68 / 0	51 / 0	/ 0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	助成額	千円	198 / 292	213 / 292	27 / 184	/ 0	0
	単位あたりコスト		1.0	1.0	1.0		
	単位あたりコスト		/	7 /	/	/	母子会・父子会補助事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 母子家庭、父子家庭の交流の場である、母子寡婦福祉会、父子福祉会の存在は大きく、その活動を支援することは意義がある。 お楽しみ会、勉強会、母子寡婦福祉大会を実施 	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 母子寡婦福祉会が実施する事業のうち市補助金対象分について経費等のチェックを行っている。 	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭の交流の場等である母子寡婦福祉会、父子福祉会の活動を支援することは有効である。 事業の性質上、成果目標、活動目標が設定しにくい。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	孤立しがちな母子家庭、父子家庭のつながりや情報共有の場である、母子寡婦福祉会、父子福祉会の活動を支援することは、意義がある。【定性的評価】令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で補助対象事業が計画通り実施ができなかったため、執行率は低い。父子福祉会について、全国父子福祉交流会議への参加にかかる旅費を積み立てている特別会計があり、その残高が補助金よりも多いことから、平成26年度から補助金を支出していない。両会とも、会員が減少しており会員を増やすことが課題である。		
改善策	会員を増やすため、子ども政策室の窓口に、会が作成したチラシを置いている。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	交付にあたっては補助金額が合理的な金額となるよう補助金申請時に聞き取りを行う。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---



福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	子ども・子育て支援事業計画推進事業					事業コード	430353					
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり					
	施策名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成				施策コード	322					
事業担当	所属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上 五十鈴					
会計情報	款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	128	頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	子ども・子育て関連3法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	子どもを安心して生み育てられる環境と、子ども一人ひとり幸せと健やかな育ちが最大限に保障される社会を実現する。「第2期子ども・子育て支援事業計画」に基づき、教育、保育、子育てに関する事業を円滑に実施する。											
対象者	委員人数				対象者数	16		単位あたりコスト	71.8			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	子ども・子育て会議委員により、福知山市の子育て支援施策について協議・検討する。また市民啓発事業を実施し、子育て支援に関する市民意識の高揚を図る。											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	報酬	104	子ども・子育て会議委員謝金									
	需用費	1	食糧費									
	役員費	4	郵送料									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	825	275	259	261				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	825	275	259	261					
予算財源内訳	① 一般財源	825	275	259	261				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	825	275						
	③ 執行額	339	109						
	④ 執行率	41.1%	39.6%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.19 / 0.00	0.13 / 0.00	0.13 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,520	1,040	1,040	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,859	1,149	1,040	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	子育てニーズアンケート調査回収率	%	42.5 / 54	- / -	- / -	- / -	/ 0
子どもの生活状況等に関するアンケート回収率	%	41.1 / 45	- / -	- / -	- / -	/ 0	45
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	子ども・子育て会議実施回数	回	4 / 2	1 / 2	1 / 1	/ 0	2
	単位あたりコスト		453.0	339.0	109.0		
	単位あたりコスト		/	12 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て関連3法 子どもを安心して生み育てられる環境と、子ども一人ひとり幸せと健やかな育ちが最大限に保障される社会を実現するために必要。 子ども子育て会議を1回実施、福知山市の子育て支援施策について協議、令和2年度の実績、令和3年度の進捗状況報告を行った。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 受益者の対象は幅広く、負担関係は発生しない。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て施策全般に対する方向性やあり方を検討・協議する機関の事業であり、直接的な実績と投入資源との関係性は測定しにくい。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	子ども子育て会議を1回開催し計画の進捗管理や認定こども園等について審議を行った。 子ども子育て会議の開催が1回のみであったため、執行率は低い。		
改善策	子ども子育て会議で審議し見直しが必要であれば計画の中間見直しを行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	計画に掲げている子育て支援事業の進捗管理や計画の適正管理を行っていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	子育て応援まちづくり事業				事業コード	430360						
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち			政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり						
	施策名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成			施策コード	322						
事業担当	所属	15010000 福祉保健部 子ども政策室			所属長	村上五十鈴						
会計情報	款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	128	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市子ども・子育て支援事業計画			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	子ども・子育て支援法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	子育てで交流・相談・支援事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	核家族化や地域のつながりの希薄化、共働き家庭の増加、子育て家庭の環境の変化、ライフスタイルや価値観の多様化などにより、子育てへの不安感、仕事と子育ての両立に対する負担感等が増大している中、子どもを安心して生み育てられる環境づくりが課題となっている。このため、三段池公園において、企業や地域事業者と連携した子育て支援、児童書等の電子書籍貸出サービスの導入等により、子育て世代が集い、交流できる新たな拠点を整備する。											
対象者	18歳以下の子育て家庭			対象者数	12,783			単位あたりコスト	2.3			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	NPO法人おひさまと風の子サロン											
事業概要 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て世代が集い、交流できる環境の整備事業(三段池公園総合体育館内食堂のリニューアルは、コロナ禍による資材不足により入札不調、令和4年度へ繰越) ・児童科学館内のキッズスペース等の改修 誰でも楽しめるインクルーシブ遊具やキッズスペースの整備(都市・交通課) 図書館の蔵書検索システム設置(図書館) ●企業や地域事業者と連携した子育て支援事業の実施(地元食材のマルシェ開催、食育活動の実施は食堂工事の繰越及びコロナ禍により実施できず。担当課 農林業振興課) ・NPOや連携企業と連携した子ども向けスポーツ教室等イベントの開催(子ども政策室、文化・スポーツ振興課) ●子どもや子育て世代への電子書籍貸出サービス導入(図書館) 											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	報償費・需用費	263		親子教室講師謝礼、消耗品費、印刷製本費(チラシ等)								
	委託料	2,648		図書館システム機器増設業務、子育て応援まちづくり事業三段池公園出張相談業務								
	使用料及び賃借料	22,037		図書館電子書籍コンテンツ使用料、親子教室施設使用料								
	工事請負費	2,165		福知山市児童科学館キッズひろば内装改修工事								
備品購入費	1,887		タブレット端末、三段池公園総合体育館家具、児童科学館室内遊具									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0		0		6,541		10,197		
	② 補正予算	0		53,081		0		0		
	③ 繰越予算	0		△ 26,906		26,906		0		
	前年度繰越	0		0		26,906		0		
	次年度繰越	0		△ 26,906		0		0		
小計(①～③)	0		26,175		33,447		10,197			
予算財源内訳	① 一般財源	0		△ 2,740		2,740		7,386		
	② 国支出金	0		0		1,398		1,410		
	③ 府支出金	0		13,334		12,064		1,401		
	④ 地方債	0		0		13,500		0		
	⑤ その他特財	0		15,581		3,745		0		
決算情報	① 流充用額	0		2,826						
	② 配当予算	0		29,001						
	③ 執行額	0		29,001						
	④ 執行率	0.0%		100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.00	/	0.00	0.10	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	0		800		800		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0		29,801		800		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	子育てにやさしいまちづくりモデル事業交付金	種類	民生費府補助金	実績金額	13,334	決算付属資料	26	頁	
		子育て応援まちづくり事業基金繰入		基金繰入金		14,766		40		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	カフェ利用者数	人	/	/	/	0 / 0	/ 4000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	カフェでの行事実施回数	回	/	/	0 / 0	/ 40	40
	単位あたりコスト		/	14	/	/	
	単位あたりコスト		/				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に実施した福知山市子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査における「雨天時の子どもの遊び場が欲しい」「子育て世代がもっと交流できるような居場所がほしい」といった要望を受け、令和3年度に三段池公園体育館内の食堂スペースや児童科学館内のキッズスペースを子育て世代が集え、交流できる場とするため改修を行った。 	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代が利用したい、しやすいと思う環境を創出するため、令和3年度内に三段池総合体育館内の利用されなくなった食堂をカフェにリニューアルする予定だったが、コロナ禍による資材不足により入札不調となり、令和4年へ繰り越した。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input checked="" type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 三段池総合体育館内食堂リニューアル工事が繰越となったため、活動開始にまで至っていない。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は、子育て世代の交流できるカフェの整備は繰越となったが、児童科学館内キッズスペースの整備、遊具や蔵書検索システムの設置、電子書籍サービスの導入、三段池公園内の既存の施設を活用した子ども向け体験活動(スポーツ教室や子育て支援交流)を実施した。 カフェ整備後、利用者の増加を図るとともに、多世代交流ができる事業展開を検討していく必要がある。 地域全体で子育てを支える環境を整えるため、様々な関係機関との連携を図り、事業の継続と充実を図る必要がある。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は、カフェ整備後、三段池公園を子育て世代のコミュニティ拠点と位置づけ、子育て世代が集い、交流できる子育て支援施策を推進する。 カフェに子育てコンシェルジュを配置し、希望に応じ子育て相談を実施、更に必要があれば適切な支援へ繋ぐことで、子育て家庭の孤立防止を図る。 多世代の交流が図れるよう子育て世代に限定しない教室等を計画し、世代を超えたコミュニケーションの場となることを目指す。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>工事が完成し、11月12日に子育て支援拠点「りとる ハビネス」がオープンした。子育て世代のコミュニティ拠点として、子育て世代が集い、交流できる子育て支援施策を推進していく。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	子育て世帯への臨時特別給付金事業					事業コード	430363					
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち			政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり						
	施策名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成			施策コード	322						
事業担当	所属	15010000 福祉保健部 子ども政策室			所属長	村上 五十鈴						
会計情報	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	102	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名	-			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市子育て世帯等への臨時特別給付金支給事業実施要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、感染拡大を踏まえた経済対策として18歳以下の子どもに対し、合わせて10万円を支給する。											
対象者	18歳以下の子ども			対象者数	13,700		単位あたりコスト	90.2				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	京都電子計算株式会社											
事業概要 (箇条書き)	0歳から高校3年生までの子どもたち1人当たり10万円の給付金を支給。 ・先行給付金 5万円 ・追加給付金 5万円 児童手当の所得制限限度額以上(特例給付)の方、又は、同等の所得がある方は対象外です。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	需用費	76		消耗品費、印刷製本費								
	役務費	1,915		郵送料、広告料、振込手数料								
	負担金補助及び交付金	1,230,200		特別給付金								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0		0		0		0		
	② 補正予算	0		1,253,750		0		0		
	③ 繰越予算	0		△ 5,010		5,010		0		
	前年度繰越	0		0		5,010		0		
	次年度繰越	0		△ 5,010		0		0		
小計(①~③)	0		1,248,740		5,010		0			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0		
	② 国支出金	0		1,248,740		5,010		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	0		0						
	② 配当予算	0		1,248,740						
	③ 執行額	0		1,232,191						
	④ 執行率	0.0%		98.7%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.00	/	0.00	0.43	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	0		3,440		3,440		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0		1,235,631		3,440		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	子育て世帯への臨時特別給付金事業		種類	民生費国庫補助金		1,232,191		18	頁
		実績金額			決算付属資料					

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	給付人数	人	/	/	/	12302 / 12500	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	単位あたりコスト		/	/	/	/	
			/	16	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 国の閣議により18歳以下の子どもに給付金を支給 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援する観点から、必要な事業である。 給付人数 12,302人 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 国の給付要綱に基づき効率的かつ速やかに給付金を支給する必要があった。 性質上、コスト削減や効率化は難しい。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 給付金を円滑に支給できているが、真に目的を達成しているか図ることが困難である。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、感染拡大を踏まえた経済対策として18歳以下の子どもに対し、子育て世帯への臨時特別給付金(先行分追加分合わせて)10万円について、令和3年度12月議会の補正予算採択後、速やかに支給することができた。一部の給付については、令和4年度に繰越して実施。		
改善策	-		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和4年度で終了

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	ファミリー・サポート・センター運営事業					事業コード	430385					
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり					
	施策名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成				施策コード	322					
事業担当	所属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上 五十鈴					
会計情報	款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	130	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市子ども・子育て支援事業計画			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	児童福祉法 子ども・子育て支援法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	保護者が用事や就労のために安心して子どもを預けられるよう、地域における育児の相互援助活動を推進する。											
対象者	生後6か月からおおむね12歳までの子どもがいる家庭				対象者数	350		単位あたりコスト	12.8			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	ファミリー・サポート・センターの設置(令和2年度より直営) ・アドバイザーの設置 ・会員の募集・登録・更新 ・会員相互の育児に関する援助活動の調整 ・援助活動を実施するにあたり必要な知識の提供(講習会等の実施)											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容							
	報酬・職員手当等	921			臨時職員報酬・期末手当							
	需用費	19			事務用品 チャイルドルーム用おもちゃ							
	役務費	260			郵送料 損害保険料							
	扶助費	67			ひとり親世帯等保護者支援助成金							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	2,504		1,525		1,642		1,695	
	② 補正予算	500		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0		0	
	次年度繰越	0		0		0		0	
小計(①~③)	3,004		1,525		1,642		1,695		
予算財源内訳	① 一般財源	836		509		548		565	
	② 国支出金	834		508		547		565	
	③ 府支出金	1,334		508		547		565	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	0		0		0		0	
決算情報	① 流充用額	96		△ 41					
	② 配当予算	3,100		1,484					
	③ 執行額	1,412		1,267					
	④ 執行率	45.5%		85.4%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.17 / 0.45	0.12 / 0.90	0.12 / 0.90	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	2,485		3,210		3,210		0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,897		4,477		3,210		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	子ども・子育て支援交付金	種類	民生費国庫補助金	実績金額	328	決算付属資料	18	頁
		子ども・子育て支援交付金		民生費府補助金		328		26	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	活動延件数	件	461 / 400	695 / 400	791 / 400	/ 400	400
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	援助会員数	人	66 / 80	79 / 80	66 / 80	/ 80	80
	単位あたりコスト		34.4	17.9	19.2		
	新規援助会員数	件	11 / 10	10 / 10	14 / 10	/ 20	10
単位あたりコスト		206.1	141.2	90.5			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	児童福祉法第6条の3第14項に基づき、子育て援助活動支援事業を実施した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	依頼会員に比較して、援助会員や両方会員の割合が少なく、一部の負担が大きい。今後の更なるニーズの高まりに対応できるよう、援助会員数の増加を目指した取り組みが必要である。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	直営実施になったことで、子育て総合相談窓口を通して市民のニーズをより丁寧に把握し、本サービスの充実を図るとともに、他事業と横断的にサービスを提供することで市民満足度を高めていくための体制が整いつつある。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>【評価】 送迎や自宅預かり希望の依頼に対し、会員同士をマッチングさせ、預け先を固定化することで親と子に安心感を与えることができおり、続けて利用されることにより利用件数が伸びている。</p> <p>【課題】 年間を通じて依頼会員の登録があり、預け先の確保として関心が高まっている一方、援助会員の登録数は伸び悩んでおり、様々な依頼のニーズに対応出来ていない部分がある。</p>		
改善策	<p>子育て世代の援助会員獲得に努め、同世代での預かりの中で交流を深め、人脈が広がる事で利用件数が伸びていく余地は大いにある。また、生後半年頃の子どもの預かりでは、引き受けられる会員が限定されるため、助産師の資格を持った会員へ積極的に活動を依頼し、子育ての話が気軽に出来る場を設け、育児に対する保護者の負担や不安を軽減し、ファミリー・サポートを利用することにより子育てを支えていく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>子育て世代にも援助会員として積極的に参加してもらうため、広報活動等で広く案内し、援助会員獲得に努める。また、資格をもたない会員に対しても研修会などを通し、スキルアップを図ることで、充実した体制を維持できるよう整えていく。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	子育て交流・相談・支援事業					事業コード	430386					
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり					
	施策名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成				施策コード	322					
事業担当	所属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上 五十鈴					
会計情報	款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	130	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市子ども・子育て支援事業計画			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	児童福祉法 子ども・子育て支援法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	子育て応援まちづくり事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	就学前の子どもとその保護者を対象に、交流の場の提供、子育ての相談・支援を通して子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援する。											
対象者	就学前までの子どもとその保護者				対象者数	8,794		単位あたりコスト	2.6			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	NPO法人おひさまと風の子サロン、公益社団法人福知山市シルバー人材センター、株式会社スリーエス											
事業概要 (箇条書き)	・地域子育て支援拠点事業の実施 地域子育て支援ひろば事業の実施(委託)、公立保育園の子育て支援センター事業の実施 ・利用者支援事業の実施(委託) ・おひさまひろば事業の実施(委託) ・子育て交流・相談・支援のための施設の維持管理 ・ラインによる子育て相談											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	報酬・職員手当等	8,221		子育て支援センター臨時職員報酬・期末手当								
	報償費・旅費	37		子育て支援センター行事講師謝礼 子育て支援員研修								
	需用費・役務費・備品購入費	1,069		子育て支援センター消耗品・備品(コロナ対策等) 光熱水費 郵送料 子育てLINE相談通信料 公用車管理経費								
	委託料	7,609		すくすくひろば 子育て交流・相談・支援事業業務、施設清掃業務								
使用料及び賃借料	528		子育てLINE相談サービス利用料									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	17,852		18,541		21,738		21,759	
	② 補正予算	3,500		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0		0	
	次年度繰越	0		0		0		0	
小計(①～③)	21,352		18,541		21,738		21,759		
予算財源内訳	① 一般財源	6,772		6,181		6,636		6,790	
	② 国支出金	5,540		6,180		7,706		8,181	
	③ 府支出金	9,040		6,180		6,296		6,788	
	④ 地方債	0		0		1,100		0	
	⑤ その他特財	0		0		0		0	
決算情報	① 流充用額	0		△ 1,016					
	② 配当予算	21,352		17,525					
	③ 執行額	19,785		17,464					
	④ 執行率	92.7%		99.7%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.20 / 0.65	0.47 / 0.65	0.47 / 0.65	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	3,225		5,385		5,385		0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	23,010		22,849		5,385		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	子ども・子育て支援交付金	種類	民生費国庫補助金	実績金額	6,102		18	頁
		子ども・子育て支援交付金		民生費府補助金		4,821			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	地域子育て支援拠点事業利用人数(5施設延人数)	人	19207 / 20000	10124 / 20000	7791 / 20000	/ 10000	20000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	地域子育て支援拠点事業実施施設数	箇所	5 / 5	5 / 5	5 / 5	/ 6	5
	単位あたりコスト		3087.6	3957.0	3492.8		
	単位あたりコスト		/	20 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	児童福祉法第6条の3第6項に基づき、地域子育て支援拠点事業を実施した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	利用料が無料であるのは他市町も同様である。子育て支援団体であるNPO法人による手厚い相談支援事業の実施は、妊娠期から切れ目ない支援を実現し、また、転入者への支援も手厚く、市民からの評価も高かった。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	交流の場の提供、子育ての相談・支援を通して子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援するため、地域子育て支援拠点を実施した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度、コロナ禍で利用人数を制限しているため利用人数は減少しているが、子育て家庭の孤立防止、虐待未然防止、養育力向上を目指して、子育て中の親が安心して集え、気軽に相談できる場づくりを行った。 平成30年度から子育て総合相談窓口と子育て支援拠点が連携を強化したことにより、令和3年度においても、個々の子育て家庭の悩みに応じて、複数の支援者が状況に応じた寄り添い支援、特に、転入したばかりで知人がいない、集団に交わりにくいといった悩みを抱える保護者への手厚い支援が実施できた。 令和元年9月から実施している子育てLINE相談が一時停止(R3.3.19~R4.1.3)となったが、再開後も多くの相談を受けている。子育てLINE相談が市民に定着しており、訪問、窓口、電話、LINEと市民のニーズに応じた手段で相談対応できる体制を整えることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で子育て家庭の交流や相談の機会が制限される中、子育て家庭の交流、気軽に相談できる機会の提供。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 子ども政策室、地域子育て支援センター、すくすくひろば、それぞれがもつ特徴を生かし、さらなる連携、役割分担をして効果的な支援を実施していく。 また、SNSの更なる活用等、市民のニーズに応じたサービスを提供するとともに、感染予防対策を徹底した事業の運営を行う。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	子ども政策室、地域子育て支援センター、すくすくひろば、それぞれがもつ特徴を生かし、さらなる連携、役割分担をして効果的な支援を実施していく。 コロナ禍でも相談・交流の機会が持てるよう、引き続きLINE相談等SNSを活用するとともに、感染予防対策を徹底しながら、子育て世代が安心して集え、気軽に相談できる場の提供を行う。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	児童手当事業				事業コード	430504						
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち			政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり						
	施策名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成			施策コード	322						
事業担当	所属	15010000 福祉保健部 子ども政策室			所属長	村上 五十鈴						
会計情報	款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	02 児童措置費		会計	01 一般会計	決算付属資料	132	頁
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	児童手当法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	児童を養育する人に手当を支給することにより、家庭等における生活の安定と時代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする。											
対象者	児童手当対象児童(公務員世帯の児童を除く)				対象者数	8,834		単位あたりコスト	130.7			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	京都電子計算機											
事業概要 (箇条書き)	0歳から中学3年終了前までの子どもを養育している家庭に手当を支給する。 (所得制限基準額内) ・0歳から3歳未満 月額15,000円 ・3歳から小学校修了まで(第1子、第2子)月額10,000円、(第3子以降)月額15,000円 ・中学校 月額10,000円 (所得制限基準額を超過する) 11月につき月額5,000円											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	需用費	247	消耗品費、印刷製本費									
	役務費	1,010	郵送料									
	委託料	1,611	システム改修費									
	扶助費	1,149,230	児童手当									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,235,007	1,228,832	1,215,979	1,201,745				
	② 補正予算	76,886	△ 68,000	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	1,311,893	1,160,832	1,215,979	1,201,745					
予算財源内訳	① 一般財源	184,479	182,374	184,258	181,781				
	② 国支出金	944,584	803,240	848,200	838,380				
	③ 府支出金	182,802	175,190	183,490	181,560				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	28	28	31	24				
決算情報	① 流充用額	△ 8,756	△ 8,734						
	② 配当予算	1,303,137	1,152,098						
	③ 執行額	1,291,943	1,152,098						
	④ 執行率	99.1%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.58 / 0.08	0.31 / 0.06	0.31 / 0.06	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	4,840	2,630	2,630	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,296,783	1,154,728	2,630	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	児童手当負担金	種類	民生費国庫負担金	実績金額	798,514	決算付属資料	16	頁
		児童手当負担金		民生費府負担金		174,045		24	
		子ども・子育て支援事業費補助金		民生費国庫負担金		1,610		16	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	児童手当支給者数	人	9266 / 0	8869 / 0	8836 / 0	/ 0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	現況届未申請者への督促回数	回	3 / 0	3 / 0	3 / 3	/ 0	0
	単位あたりコスト		202852.6	430647.7	384032.7		
	現況届期間内提出率	%	89.9 / 0	91.6 / 0	0 / 0	/ 0	0
	単位あたりコスト		13538.6	14104.2			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	児童手当法に基づく事業 中学校卒業までの子どもの育ちを経済的に支援する一助となるため必要な事業である。 ・延べ給付人数 103,720人	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	手当の認定、支給等に関して電算システムを使用し効率的に支給できている。 手当支給という性質上、コスト削減や効率化は難しい。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	手当を円滑に支給できているが、真に目的を達成しているか図ることが困難である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	児童手当法に基づき手当を支給することにより、子育て世帯の生活の安定と、子どもの健やかな成長に資することができた。 国庫負担金、府負担金を活用し、手当の支給を円滑に行うことができています。 今後も、手当の支給が通常期払から遅れることがないよう諸届、申請の適切な提出を促す。		
改善策	市のホームページや広報誌などにより諸届、申請の適切な提出を促す。 また、児童手当の諸手続きについて、令和4年中に電子申請できるようにする。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	国の補助要綱に基づく事業であるため、現行のとおり実施。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	幼稚園入園支度金支給事業					事業コード	620601					
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり					
	施策名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成				施策コード	322					
事業担当	所属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	西村 憲二					
会計情報	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 教育振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	218	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名				R4現在の状況	他事業へ統合		
根拠法令等	福知山市教育・保育施設等入所支度金支給要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	経済的理由により入園の支度に困窮する者に、必要となる費用の一部を負担することで、小学校就学前の子どもの健全な育成及び教育・保育事業の保持・増進を図る。											
対象者	幼稚園に入園する幼児のうち、生活保護世帯及び非課税世帯				対象者数	8		単位あたりコスト	129.4			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	幼稚園に入園する幼児の保護者で、経済的困窮事由に該当する8世帯のうち、5世帯から申請を受け、入所支度金を支給した。 ※令和4年度で民間保育所運営事業、保育所入所支度金へ統合する。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容							
	扶助費	75			幼稚園入園支度金							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	66		66		0		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)	66		66		0		0					
予算財源内訳	① 一般財源	66		66		0		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0		0				
決算情報	① 流充用額	0		9								
	② 配当予算	66		75								
	③ 執行額	42		75								
	④ 執行率	63.6%		100.0%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.10	/	0.00	0.12	/	0.00	0.00	/	0.00		
	② 概算人件費	800		960		0		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	842		1,035		0		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	補助対象者数	人	3 / 6	5 / 6	5 / 6	/ 0	7
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	入園内定者への案内文送付	回	1 / 1	1 / 1	1 / 1	/ 0	1
	単位あたりコスト		30.0	42.0	75.0		
	単位あたりコスト		/	24 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	福知山市教育・保育施設等入所支度金支給要綱に基づき、幼稚園に入園する児童の保護者で、経済的困窮事由により入園の支度が困難とする5世帯から申請を受付、支度金を支給した。	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	支度金助成という性質上、コスト削減や効率化は難しい。	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	就学前子ども世帯の経済的負担を軽減しており、有効な事業となっているが、入園後の支給であるため、時期などが適当であるかなど、検討は必要である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	【自己評価】 生涯学習社会の基盤を培う幼児(就学前)教育の振興に努めることができた。 入園の際に必要な物品購入費用を明確にし、支度金の支給額を令和3年度より改正した(12,000円→15,000円)。 今後も、市内の幼稚園に入園する幼児の保護者で、経済的理由により入園の支度が困難な方に対して支援を行っていく。 【現状の課題】 入園後の支給であるため、時期などが適当であるかなど、検討は必要である。		
改善策	保育所入所支度金との整合をとり、全教育・保育施設一律の「教育・保育施設等入所支度金」として支給額を見直した。 今後も、市内の幼稚園に入園する幼児の保護者で、経済的理由により入園の支度が困難な方に対して支援を行っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	※令和4年度で民間保育所運営事業、保育所入所支度金へ統合した。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: 民間保育所運営事業(R4~))
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	児童館管理経費事業				事業コード	730107						
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち			政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり						
	施策名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成			施策コード	322						
事業担当	所属	15010000 福祉保健部 子ども政策室			所属長	村上 五十鈴						
会計情報	款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	03 児童福祉施設費		会計	01 一般会計	決算付属資料	134	頁
計画期間	開始年度	昭和55年		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-		R4現在の状況	継続中	
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	児童館運営事業、児童館改修事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	児童館が児童厚生施設としての機能を維持し、児童が安心して遊び、学べる場所を確保する。臨時職員の雇用、電気・通信・上下水道機能の確保のほか施設小修繕や警備業務・消防設備点検などを外部委託する。											
対象者	市内の乳幼児から中学生まで				対象者数	10,011		単位あたりコスト	5.7			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	アムスセキュリティサービス(株)、株式会社石丸浄水センター											
事業概要 (箇条書き)	児童館施設の機能確保のため、臨時職員の雇用、電気・通信・上下水道の維持のほか施設小修繕や機械警備業務・消防設備点検業務の費用を支出する。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	報酬、職員手当等、旅費	4,953		職員報酬、職員期末手当、研修旅費等								
	需用費	6,474		消耗品費、電気料、燃料費								
	役務費	1,749		児童安全共済制度保険料、廃棄物収集運搬業務ごみ廃棄手数料、電気代、電話代等								
	委託料	1,060		巡回警備業務委託料他								
	使用料及び賃借料他	1,812		デジタル印刷機賃借料、閲覧用図書、京都府北部隣保館・児童館連絡協議会分担金 他								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	15,620		16,185		19,406		23,284		
	② 補正予算	4,500		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)	20,120		16,185		19,406		23,284			
予算財源内訳	① 一般財源	19,020		15,070		18,277		21,716		
	② 国支出金	0		0		0		450		
	③ 府支出金	980		980		980		980		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	120		135		149		138		
決算情報	① 流充用額	1,161		798						
	② 配当予算	21,281		16,983						
	③ 執行額	19,142		16,048						
	④ 執行率	89.9%		94.5%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.90 / 1.75		2.63 / 8.05		2.63 / 8.05		0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	11,575		41,165		41,165		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	30,717		57,213		41,165		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	隣保館運営費等(児童館)		種類	民生費府補助金		980		26	
		南有路児童館光熱水費			雑入		104		44	
		電柱占用料(児童館)			民生使用料		18		10	
				実績金額				決算付属資料		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	延施設利用人数	人	47043 / 63000	38681 / 63000	31120 / 63000	/ 0	63000
	単位あたりコスト		0.4	0.5	0.5		
	単位あたりコスト		/	26 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 部落問題をはじめとする人権問題解決に向けた人材の育成、子育て支援の拠点施設として必要な施設であり、施設の機能確保のため必要である。 民間事業者や市民が自ら実施することについて、現実的には厳しい。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 消防施設点検などの各種業務委託について、9館まとめて一括で委託するなどによりコストの削減を図っている。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 児童厚生施設としての機能を維持し、児童が安心して遊び、学べる場所を確保するために必要である。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>児童館の安全で快適な施設管理を維持し、安心して遊び、学ぶことの出来る場所を確保するとともに、健全な児童育成を図ることができた。施設の維持管理に必要な経費に関する事業であり、利用者に不便が生じないよう、適切かつ効率的な予算執行により施設の維持管理を行っている。【定性的評価】少子化が進行しており、利用者の増加は見込みにくい。特に周辺部の施設は、学校統合などの影響もあり施設利用者が大幅に減少している。殆どの施設が築後30年以上経過しており、老朽化による施設機能の低下が著しいので、統合や計画的改修が必要である。本事業における成果実績の数的設定は困難である。</p>		
改善策	<p>事業内容の見直しを検討し利用しやすい事業を考える。(学校統廃合などで広範囲となっているので出張児童館などを実施するなど) 児童館が児童厚生施設としての機能を維持し、児童が安心して遊び、学べる場所を確保する。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>修繕等により、児童館が児童厚生施設としての機能を維持し、児童が安心して遊び、学べる場所を確保する。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	児童館改修事業					事業コード	730115					
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり					
	施策名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成				施策コード	322					
事業担当	所属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上 五十鈴					
会計情報	款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	03 児童福祉施設費		会計	01 一般会計	決算付属資料	134・136	頁
計画期間	開始年度	昭和60年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	児童館運営事業、児童館管理経費事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	児童館の環境が、利用者にとって安全かつ快適な常態である事を維持するため、必要に応じた改修を実施する。											
対象者	市内の乳幼児から中学生まで				対象者数	10,011		単位あたりコスト	0.6			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	小川建築設計											
事業概要 (箇条書き)	児童館は昭和55年から平成5年の間に竣工しており、最も新しい館でも築25年以上経過していることから、施設本体では雨漏りの発生や付属設備である空調設備等も相次いで故障するため、必要に応じて改修を実施する。 令和3年度 ・堀児童館、南佳屋野児童館の耐震診断 ・菟原児童館エアコン改修工事											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	委託料	2,497		耐震調査業務								
	工事請負費	2,671		菟原児童館修繕工事								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	300	3,422	5,600	68,832	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①～③)	300	3,422	5,600	68,832		
予算財源内訳	① 一般財源	300	3,422	0	68,832	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	1,000	0	
	⑤ その他特財	0	0	4,600	0	
決算情報	① 流充用額	△ 205	1,746			
	② 配当予算	95	5,168			
	③ 執行額	95	5,168			
	④ 執行率	100.0%	100.0%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.30 / 2.50	0.06 / 0.00	0.06 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	8,650	480	480	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	8,745	5,648	480	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	延施設利用人数	人	47043 / 63000	38681 / 63000	31120 / 63000	/ 0	63000
	単位あたりコスト		/	29 /	/	/	児童館改修事業
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 部落問題をはじめとする人権問題解決に向けた人材の育成、子育て支援の拠点施設として必要な施設である。 施設が老朽化しているため適切な修繕を計画的に実施し施設の延命化を図る必要がある。 堀児童館、南住屋野児童館の耐震診断及び雨漏り調査を実施した。 菟原児童館エアコン改修工事を実施した。 民間事業者や市民が自ら実施することについて、現実的には厳しい。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 建築住宅課へ委任し入札等の手法により実施しておりコスト削減はできている。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者にとって安全かつ快適な常態を維持するために必要に改修である。 本事業における活動実績、成果実績の数的設定は困難である。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>児童館の安全で快適な施設管理を維持し、安心して遊び、学ぶことの出来る場所を確保するとともに、健全な児童育成を図ることができた。施設の維持管理に必要な経費に関する事業であり、利用者に不便が生じないよう、適切かつ効率的な予算執行により、健全育成を図ることができた。施設の維持管理を行っている。【定性的評価】 少子化が進行しており、利用者の増加は見込みにくい。特に周辺部の施設は、施設利用人数が減少している。老朽化による施設機能の低下が著しい。</p>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 事業内容や回数の見直し・統合等の検討し利用しやすい事業を考える。(学校統廃合などで広範囲となっているので出張児童館などを実施するなど) 施設修繕等について、令和4年度は以下を実施する。 額田児童館耐震診断業務 堀児童館、丘児童センターの排煙装置修繕 前田児童館非常階段修繕 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>児童館は築後40年余り経過しており老朽化が著しい。 雨漏りや照明のLFD化等の大規模修繕等を計画的に実施して施設の延命を図る。 (9館で改修か所が異なるため年度によっては予算増減幅あり)</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	放課後児童クラブ運営事業				事業コード	430304					
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち			政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり					
	施策名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成			施策コード	322					
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課			所属長	浅田 久子					
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	226	頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	児童福祉法、福知山市放課後児童クラブの設置に関する条例、福知山市放課後児童健全育成事業補助金交付要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	放課後児童クラブ整備事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	保護者や同居家族が就労等により昼間見守りができない小学生に対し、放課後や学校休業日に安心して遊びや生活ができる場を提供するとともに、健全育成を図り、保護者の就労と子育ての両立を支援する。										
対象者	放課後児童クラブ登録児童				対象者数	1,400		単位あたりコスト	132.9		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	(委託)社会福祉法人 上豊富福祉会 (補助)上川口・上六人部放課後児童クラブ										
事業概要 (箇条書き)	市内に放課後児童クラブを開設し、小学生の見守りを行う。 ※利用は事前登録制で、使用料が必要 開設日：4月1日から翌年3月1日まで(日曜日及び祝祭日、12月29日から1月3日を除く) 開設時間：平日(月曜日から金曜日)下校から午後7時まで(土曜日及び振替休日)午前7時45分から午後7時まで 長期休業期間(春・夏・冬)午前7時45分から午後7時まで 開設場所：直営12箇所(樟明・昭和・大正・雀部・庵我・修斉・遷喬・六人部・成仁・三和・夜久野・大江)委託1箇所(上豊富)地元2箇所(上川口・上六人部)										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	報酬	127,416	放課後児童クラブ臨時職員報酬								
	職員手当等	7,786	放課後児童クラブ臨時職員職員手当								
	旅費	22	放課後児童クラブ普通旅費								
	需用費	5,217	放課後児童クラブ運営に係る消耗品費、光熱水費、施設維持管理費他								
	役員費他	17,502	放課後児童クラブ運営に係る通信運搬費、放課後児童クラブ業務委託費、放課後児童クラブ運営補助金他								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	160,382	154,174	168,678	196,850				
	② 補正予算	0	8,145	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	160,382	162,319	168,678	196,850					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	30,679	29,925	31,894	33,626				
	③ 府支出金	30,679	29,925	30,166	33,626				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	99,024	102,469	106,618	129,598				
決算情報	① 流充用額	△ 414	0						
	② 配当予算	159,968	162,319						
	③ 執行額	150,099	157,943						
	④ 執行率	93.8%	97.3%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	2.35 / 1.98	2.90 / 1.98	2.90 / 1.98	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	23,750	28,150	28,150	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	173,849	186,093	28,150	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	放課後児童クラブ使用料	種類	教育使用料	実績金額	52,306	決算付属資料	12	頁
		放課後児童クラブ運営事業(子ども子育て支援交付金)		教育費国庫補助金		30,282		22	
		放課後児童クラブ運営事業(子ども子育て支援交付金)		教育費府補助金		32,050		30	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	保護者アンケートによるプラス評価	%	93 / 91	93 / 91	93 / 91	/ 91	91
	児童クラブ開設学区数	校区	19 / 19	16 / 16	15 / 15	/ 15	15
	児童クラブ支援の単位数	単位	25 / 25	27 / 27	26 / 26	/ 26	26
	単位あたりコスト		7939.4	9381.2	10529.5		
	単位あたりコスト		6034.0	5559.2	6074.7		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童クラブは、保護者が安心して就労するために小学生の見守りを行うもので、核家族化の増加や女性の社会進出に伴い、利用ニーズは年々高まっている。特に、低学年(1~3年生)と夏季・春季休業期間の利用率が高い。 民間や市民から児童クラブを運営したいと相談があった際は対応してきたが、自ら実施したものはいないため、本市で取り組むべき事業と言える。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童クラブの運営業務を効率化するために、RPAを活用して定例事務の効率と正確さを向上させた。 放課後児童クラブを運営している施設は全体的に老朽化しており、児童クラブの居室について児童が安全に過ごせる環境を保つために、空調施設について、コスト面等を考慮し、施設改修を行った。 繁忙期に合わせて指導員の追加募集を行うなど、ニーズに合わせて人員を調整してコスト削減に努めた。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が安心して就労するために、環境が整った施設で児童を安全に見守るための施設改修、システム改修は有効である。 事務の面では保護者のニーズに合わせて審査の合理的緩和や書類の提出期限の猶予、支払方法の拡大を行い、児童の預かりの面では児童の特性や家庭の事情に配慮した支援を行った結果、成果目標以上の成果実績を得た。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●核家族化や共働き家庭の増加に対応し、保護者の就労時に小学生を安心して預けられることは最も重要なことである。その受け皿となる放課後児童クラブの設置は必要不可欠なものであり、システム改修、施設改修を行い、子どもの安心・安全な環境を提供することができた。 ●令和3年は長期休業期間中の利用のキャンセルを完全にスマートフォン等でできるようにした。しかしその他の児童クラブの手続きの電子化が進んでおらず、この対応が急務である。特に保護者の依頼を受けて各事業所に作成いただく勤務証明書電子証明にする際の負担をどう軽減するかが目下の課題であり、対応策を模索している。 ●放課後児童クラブの指導員は高齢であるため、今後世代交代に備えて次世代の指導員の育成が必要であるが、勤務の時間帯の特徴によって、高校生や大学生など、今後進学就職で転出が予想される層の応募が多い。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ●統廃合した小学校の学区内にある放課後児童クラブの運営形態を検討し、特に、大江放課後児童クラブについて関係機関と連携し、必要に応じた施設整備を検討する。 ●活動実績は、国が示す1単位(支援の集団の規模、概ね40人以下)の児童数に、より近づけて単位数の目標値を設定したいと考えており、惇明・大正・遷喬において、単位数を増やしていくために、指導員及び専用教室の確保を行うと共に、今後も必要に応じた施設整備が不可欠である。 ●保護者の意思のみに基づいて行える手続きに関しては電子化を行う。事業所による証明書等の電子化に関しては、電子化することで事業所の負担の増加が予想されるため慎重に検討する。 ●福知山に定住して、今後長く勤務できる20代後半から30代前半の層にアプローチするため、自身の児童を預けながら自身も児童クラブで勤務する勤務モデルを積極的に広報する。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者が安心して就労できるよう、放課後児童クラブで子どもが安心・安全に過ごせる環境を整えていく。 ●児童数に対応した指導員を確保すること、また、最低賃金等の見直しを踏まえて指導員の処遇改善を進める。 ●申請手続等の利便性を向上し保護者の負担を軽減するためにも、引き続き電子化を進めていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	放課後児童クラブ整備事業					事業コード	430399				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり				
	施策名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成				施策コード	322				
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課				所属長	浅田 久子				
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	226	頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	児童福祉法、福知山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	放課後児童クラブ運営事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	児童の安心・安全な見守りの場を保障するために、必要な改修及び整備を行う。 共働き世帯の増加に伴い、放課後児童クラブの利用者が低学年を中心に年々増加しており、保護者が安心して就労でき、放課後児童クラブを利用する児童が安全に過ごせるよう整備を行い、居室環境の向上を図る。										
対象者	放課後児童クラブ登録児童				対象者数	1,400		単位あたりコスト	19.9		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	株式会社ケーケーシー情報システム、株式会社伊藤・梅原建築設計事務所、株式会社堀通信										
事業概要 (簡条書き)	○大正放課後児童クラブのエアコンが老朽化しており、児童にとって安全で安心して過ごすことのできる場を提供するため、改修工事を行う。 ○大江放課後児童クラブの施設は、築50年を経過しており、建物が老朽化していること、また、現在の居室の使用できる面積が少ないことから、旧大江給食センターを改修するための設計業務の委託を行う。 <div style="text-align: right;">○市内の小学校において、タブレットを使用している授業が行われており、放課後児童クラブにおいても、家庭学習ができるようWi-Fi環境の整備を行う。</div>										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容						
	委託料	23,297			大正放課後児童クラブ改修設計業務、子ども子育て支援システム改修業務委託、通信ネットワーク整備業務						
	工事請負費	1,179			大正放課後児童クラブエアコン設置工事						

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,500	6,019	41,400	121,323					
	② 補正予算	0	19,541	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①~③)	1,500	25,560	41,400	121,323						
予算財源内訳	① 一般財源	200	8,060	2,294	6,941					
	② 国支出金	0	0	0	60,886					
	③ 府支出金	0	0	19,106	17,296					
	④ 地方債	1,300	17,500	20,000	36,200					
	⑤ その他特財	0	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	330	0							
	② 配当予算	1,830	25,560							
	③ 執行額	814	24,476							
	④ 執行率	44.5%	95.8%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.26 / 0.00	0.43 / 0.00	0.43 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	2,080	3,440	3,440	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,894	27,916	3,440	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	放課後児童クラブ整備事業(地域活性化)	種類	教育債	実績金額	16,000	52	決算付属資料	30	頁
		放課後児童クラブ整備事業(きょうと地域連携交付金)		教育費府補助金	1,425					

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	必要な施設整備	箇所	11 / 18	11 / 16	11 / 15	/ 18	18
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	年間登録児童数	人	1660 / 1655	1625 / 1655	1537 / 1655	/ 1700	1700
	単位あたりコスト		1.4	0.5	15.9		
	児童クラブ支援の単位数	単位	25 / 25	27 / 27	26 / 26	/ 25	25
単位あたりコスト		93.3	30.1	941.4			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童クラブは、保護者が安心して就労するために小学生の見守りを行うもので、核家族化の増加や女性の社会進出に伴い、利用ニーズは年々高まっている。特に、低学年(1~3年生)と夏季・春季休業期間の利用率が高い。 児童が安心して過ごすための環境整備・施設改修は必要不可欠である。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童クラブを運営している施設は全体的に老朽化しており、児童クラブの居室について児童が安全に過ごせる環境を保つために、空調施設について、コスト面等を考慮し、施設改修を行った。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が安心して就労するために、環境が整った施設で児童を安全に見守るための施設改修は有効である。 15ヶ所の児童クラブへのWi-Fi環境整備は、タブレット学習の拡充に寄与していることから有効である。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●核家族化や共働き家庭の増加に対応し、保護者の就労時に小学生を安心して預けられることは最も重要なことである。その受け皿となる放課後児童クラブの設置は必要不可欠なものであり、施設改修を行い、子どもの安心・安全な環境を提供することができた。 ●児童クラブの施設の中には駐車場が狭い場所や、駐車場が無いので児童が遊ぶ園庭に侵入しなくてはならない場所があり、危険である。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ●統廃合した小学校の学区内にある放課後児童クラブの運営形態を検討し、特に、大江放課後児童クラブについて関係機関と連携し、必要に応じた施設整備を検討する。 ●活動実績は、国が示す1単位(支援の集団の規模、概ね40人以下)の児童数に、より近づけて単位数の目標値を設定したいと考えており、惇明・大正・遷喬において、単位数を増やしていくために、指導員及び専用教室の確保を行うと共に、今後も必要に応じた施設整備が不可欠である。 ●駐車場、駐車台数確保のための整備又は借用の検討 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の安心・安全な見守りの場を保障するため、必要な施設の修繕等を計画的に行う。 ・令和5年度は、遷喬放課後児童クラブの新築工事、大江放課後児童クラブの新築にかかる設計業務を実施する。 ・雀部放課後児童クラブのエアコン改修を進める。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	こだま教育推進事業					事業コード	610114					
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり					
	施策名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成				施策コード	322					
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課				所属長	浅田 久子					
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	226	頁
計画期間	開始年度	昭和58年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	本市の社会教育の重点に基づき、市民全体の人間力の向上、特に次代を担う青少年の健全育成を目指して、家庭・学校・地域社会の連携を大切に、市民総がかり・社会総ぐるみで活動を展開する。											
対象者	市民	対象者数	76,037	単位あたりコスト	0.0							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	○掲示教育の推進:各自治会単位でこだま教育推進員を委嘱し、市内345箇所月2回掲示文を板書している。 ○啓発紙の発行:家族だんらんの日作文集を市内全戸配布 ○青少年思いやり地域活動事業:青少年の学校外活動の推進や家庭と地域における教育力の向上を図る取組を各地区公民館を中心に実施 ○「心の教育」実践活動:教育行政、公民館、学校、関係団体による「心の教育」実践活動中央本部を設置し、各構成員が次代を担う青少年を健全に育成する必要性を認識するとともに、市民全体の共通認識となるよう「心の教育」実践活動の推進を図る。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	需用費	985	作文集印刷製本費(全戸配布)、掲示黑板購入 他									
	役務費	87	郵送料、往復はがき代									
	負担金補助及び交付金	940	心の教育実践活動交付金									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,579	1,718	1,690	1,817					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①~③)	1,579	1,718	1,690	1,817						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	1,579	1,718	1,690	1,817					
決算情報	① 流充用額	317	294							
	② 配当予算	1,896	2,012							
	③ 執行額	1,810	2,012							
	④ 執行率	95.5%	100.0%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.15 / 0.42	0.04 / 0.00	0.04 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	2,250	320	320	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,060	2,332	320	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	こだま教育推進事業基金繰入		種類	基金繰入金	実績金額	1,718	決算付属資料	38	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	教育推進員による掲示活動	回	24 / 24	24 / 24	24 / 24	24 / 24	24
「心の教育」実践活動の参加人数(あいさつ運動は除く)	人	27377 / 23000	23784 / 23000	24218 / 20000	20000	20000	20000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	掲示箇所数	人/箇所	352 / 349	345 / 349	345 / 345	345	345
	単位あたりコスト		5.1	5.2	5.8		
	「心の教育」実践活動実施ブロック数	ブロック	10 / 10	10 / 10	10 / 10	10	10
	単位あたりコスト		178.5	181.0	201.2		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> いじめ問題、地域のつながりの希薄化など現代的な社会問題や課題を把握し、その解決に向け家庭・学校・地域が連携して取り組む事業として必要である。 「心の教育」実践活動事業交付金を市内計10ブロック(地域公民館単位)に交付し、「家族だんらんの日」普及のための各地域での取組に充てた。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 教育推進員(352名)は、ボランティアで実施。また、「心の教育」実践活動や青少年思いやり活動についても、活動における人件費的な経費までは支援を行っておらず、各団体の協力で実施。 「家族だんらんの日」制定10周年を迎え、さらにこの取組を浸透させていくため、「家族だんらんの日」推進企業・団体の募集を開始した。既決の予算は充てずに各種広報や営業活動を実施し、登録団体を募っている。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標については、事業規模から経験的に期待される目標としており、十分に理にかなったものとは言い難い。 第10回「家族だんらんの日」手紙・作文集を募集したところ、2,382点の応募があった。こだま教育研究員により184点を選考して作文集を作成し、令和4年3月に全戸配布した。一部作品は、図書館(中央館)でも展示を行い、露出面を増やした。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭・学校・地域社会が連携し、「あいさつ運動」、「家族だんらんの日」、「掲示教育活動」、「青少年学校外活動」など様々な活動を多くの地域で実施し、活動参加者も多くの方が関わっていることから、これらの活動が各地域で定着し、それぞれの地域実態にあった取り組みが進められていることは評価できる。 ●掲示教育は地域づくり、環境、人権等の啓発文を全市約350箇所掲示するもので、市民に教育のまちづくりを地域一丸での見守りの醸成を進めることができている。 ●こだま教育掲示事業に関しては、高齢化に伴う掲示教育推進員の確保が課題である。長年お世話になっている推進員には、教育委員会から感謝状の贈呈や青少年健全育成活動推進者表彰の推薦を行い、日頃の活動に感謝するとともに、事業の広報に努めた。 ●令和3年度から募集開始した「家族だんらんの日」推進企業・団体の登録数をさらに増やすPRが必要である。電子申請システムを活用した申込受付も開始した。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も継続して、少年を取り巻く現状を把握し、課題解決に向け、各関係機関と連携を図る。 ●引き続き地域学校協働活動を企画・主導し、市民の理解・協力を得て事業を推進していく。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	「家族だんらんの日」について、学校、関係諸団体、市職員、企業等への啓発を更に充実させ、全市的な取組となるように努める。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	PTA連絡協議会共催事業					事業コード	630237					
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり					
	施策名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成				施策コード	322					
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課				所属長	浅田 久子					
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	228	頁
計画期間	開始年度	昭和46年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	すべての子どもが大切にされる地域づくりを実現するため、福知山市PTA連絡協議会の活動(会員相互の情報交換・交流、研修会による学び、関係機関との連携)を一層充実させ、会員の資質向上を図る。											
対象者	各市立幼稚園・小・中学校PTA会員				対象者数	5,500		単位あたりコスト	0.1			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	市P幹部研修会、中丹P指導者研修会、府PTA中央指導者研修、近畿P研究大会、市P人権研修											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	旅費	7		研修旅費								
	負担金補助及び交付金	30		研修会負担金								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	105	112	112	113	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①~③)	105	112	112	113		
予算財源内訳	① 一般財源	105	112	112	113	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流用額	0	0			
	② 配当予算	105	112			
	③ 執行額	34	37			
	④ 執行率	32.4%	33.0%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.02 / 0.88	0.07 / 0.00	0.07 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	2,360	560	560	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,394	597	560	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	研修会・大会等参加者数(延べ)	人	1476 / 1700	255 / 1000	196 / 700	700	700
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	事業開催数	回	16 / 16	7 / 16	7 / 16	16	16
	単位あたりコスト		5.8	4.9	5.3		
	単位あたりコスト			37			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> PTA活動を交流したり、子育てを学んだりすることで、子育て世帯の独立化を防ぎ、子育て環境を充実させる。 	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 受益者負担として各単位PTAから負担金を徴収している。 	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍による事業実施中止や制限が行われる中、学びの環境を閉ざさないように、人数を制限した会議・研修会の開催や、ライブ配信・オンライン参加情報の発信を行った。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍が続き、事業が中止や制限されたため、集合した形での参加者数は減少している。また、研修会や大会のライブ配信を全会員に情報発信しているが、その視聴者数は参加者数に挙げていないため、実績数は下回っている。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、「家族だんらの日」の普及等を通じて、地域・家庭をあげての教育力の向上につながるような取組を進めていく。 ●研修などの活動内容について、デジタル化や防災、大学教育など保護者の関心が高い内容を取り入れて、本市の特色を伝えやすい工夫をする。 ●少子化によるPTA活動の担い手確保が厳しくなる一方で、子育て支援への必要性は増す中、本市においても、子どもにとって価値あるPTA活動の視点から取組内容を見直していく必要がある。 		

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	教育の基礎である家庭教育を担う保護者に対しての支援、連絡体制の強化に加え、「親育て」についてもさらに重点を置き、研修を深める場を提供する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---